

# 会報 しんせき

第 91 号

令和3年6月10日

発行責任者

新関コミュニティ協議会  
会長 渡辺 和典

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)

## 「新葉」が美しい竹林

春、筍の季節になると竹の葉が黄色くなって風に舞いながら落ちていきます。

周辺は、積み重なった落ち葉に覆われ、まるで「じゅうたん」を敷いたよう。  
竹林全体が枯れたように見えます。

この状態を「竹の秋（竹秋）」と言い、俳句では春の季語だそうです。

しかし、5月6月になると柔らかな黄緑色の葉が芽吹き、何とも言えぬ風情となります。  
今はその時節。しばし足を止めて見とれてしまいます。

青田の中に、黄色くなっている麦畑を見かけることがあります。

これは「麦秋」。・・・日本人は昔から豊かな感性の持ち主・・・

コロナ騒ぎで落ち着かない昨今、

ちょっと足を止めて近くの自然を眺め、心を癒したいものです。

小口地内の竹林

# 新関ふれあい運動会

最高のチームで力を合わせ

W優勝をつかめ!

燃えろ! 新関小



一週間前、軽トラックに装置をつけ、砂塵をあげてグラウンドを整備する保護者



早朝より開催に向けて準備



昨年度の新関ふれあい運動会は、コロナ感染症対策のため秋に延期。  
この経験を活かし今年度も競技種目を精選・工夫し、午前中のみで予定通り5月22日に行われました。  
前日までの雨で開催が危ぶまれましたが、当日は雨も上がり、早朝より懸命のグラウンド整備。用具の準備・テント張りなどを手際よく作業が進み予定の時刻に無事開催できました。  
学校職員、PTA、コミ協、地域住民、保護者ら総力挙げての連係プレーはまさに「チーム新関」を物語る素晴らしい光景でした。  
子どもたちは、多くの人たちの期待に応え、「ダブル優勝」を目指して頑張りました。  
結果は、大接戦の末、優勝赤組・応援賞は白組。  
大成功の運動会でした。



多くの審査員の見守る中、声をからしての応援合戦



伝統の「パン食い(取り)競争」



# 自治会で花植え作業

## 花咲くロード 癒しのロード

6月5、6日の土日、各自治会では花壇に花植え作業を行いました。これから秋にかけて、色とりどりの花が咲き誇り道行く人たちを楽しませてくれます。

ごみのポイ捨てが後を絶たない中、「自然豊かな新関、美しい新関」を目指して活動する子供たちと、地域の皆さんによる花植え活動はきっと多くの人たちに伝わると思います。



大関



市新



岡田



金屋



新郷屋



六郷



小口

小口は、公園愛護会と小口遊林倶楽部という組織で、公園や観音山の手入れを定期的に行っています。

# 災害に備えて 防災行事にご協力を！

昨年度はコロナ感染症のため防災事業は中止となりました。しかし、突如襲ってくる地震、そして、予想を覆す近年の大型台風や豪雨、もはや過去の記憶やデータも参考にならなくなっています。依然としてコロナ感染症は深刻な状態ですが、自然災害から命を守る訓練は重要です。

新関コミ協や自治会、学校の防災訓練に参加いただきご協力をお願いします。

## 6月16日（水）三者合同避難訓練（新関コミ協・新関小学校・認定こども園おひさま）

この6月16日は、新潟地震が起きた日です。新潟市では市内全域で地震対応訓練が行われます。

これに合わせ三者合同による避難訓練を行います。

- ◆想定 新潟沖に震度6の地震発生
- ◆日時 令和3年6月16日 午後1:25～
- ◆会場 新関小学校グラウンド（雨天体育館）
- ◆対象者 新関コミ協・自治会関係者・新関小学校・認定こども園おひま・保護者（引き取り訓練）

## 6月16日（水）防災講演会

- ◆日時 16日、午後2:15～（上記の三者合同避難訓練終了後）
- ◆対象者 新関コミ協・自治会関係者
- ◆会場 新関コミセン
- ◆講師 小松茂夫様



## 6月27日（日）新関地域の防災の日

毎年6月の第4日曜日を新関地域の防災の日と定め、新関地域が一体となり同時刻に一斉に行うものです。

- ①リボンによる安否確認訓練 8:30～
- ②通報訓練・・・安否確認後、新関コミ協災害対策本部（新関コミセン）へ
- ③各自治会が計画する防災訓練等（内容は自治会に一任）
- ④家族防災会議（各家庭で実施・・・コミ協より事前に資料を配布します。）

6月も半ば、令和3年も半分が過ぎようとしています。  
コロナ感染症の収束は未だに見えませんが、ワクチンによる予防接種の予約が取れず、困っている方が多くいます。オリンピックはどんな形で行われるのでしょうか。

外での酒の席が減った中、酒の飲み方を忘れた？という人、晩酌の量が増えたという人、酒と縁が切れそうだという人、ポケットマネーなど出費が減ったという人、早くみんなが安心して飲める日が待ち遠しい、など様々です。皆さんはどこに該当しますか。

6月の防災関係行事に続き、7月は「七夕行事」が控えています。例年のような福祉の集い（敬老会・・・昨年は中止）は難しい状況です。現在、健康福祉部で内容等を検討中。

「新関ふれあい祭り・作品展」は10月に計画しています。（昨年度は中止）。コロナ禍にあって、どこをどう工夫したらやれるかを念頭に知恵をしばっています。作品展は3日間ほど日をとって実施する予定。今から作品作りにご協力をお願いいたします。

その頃には、コロナも収束の方向に向かっているでしょうか。